

1 沿線地域の現状

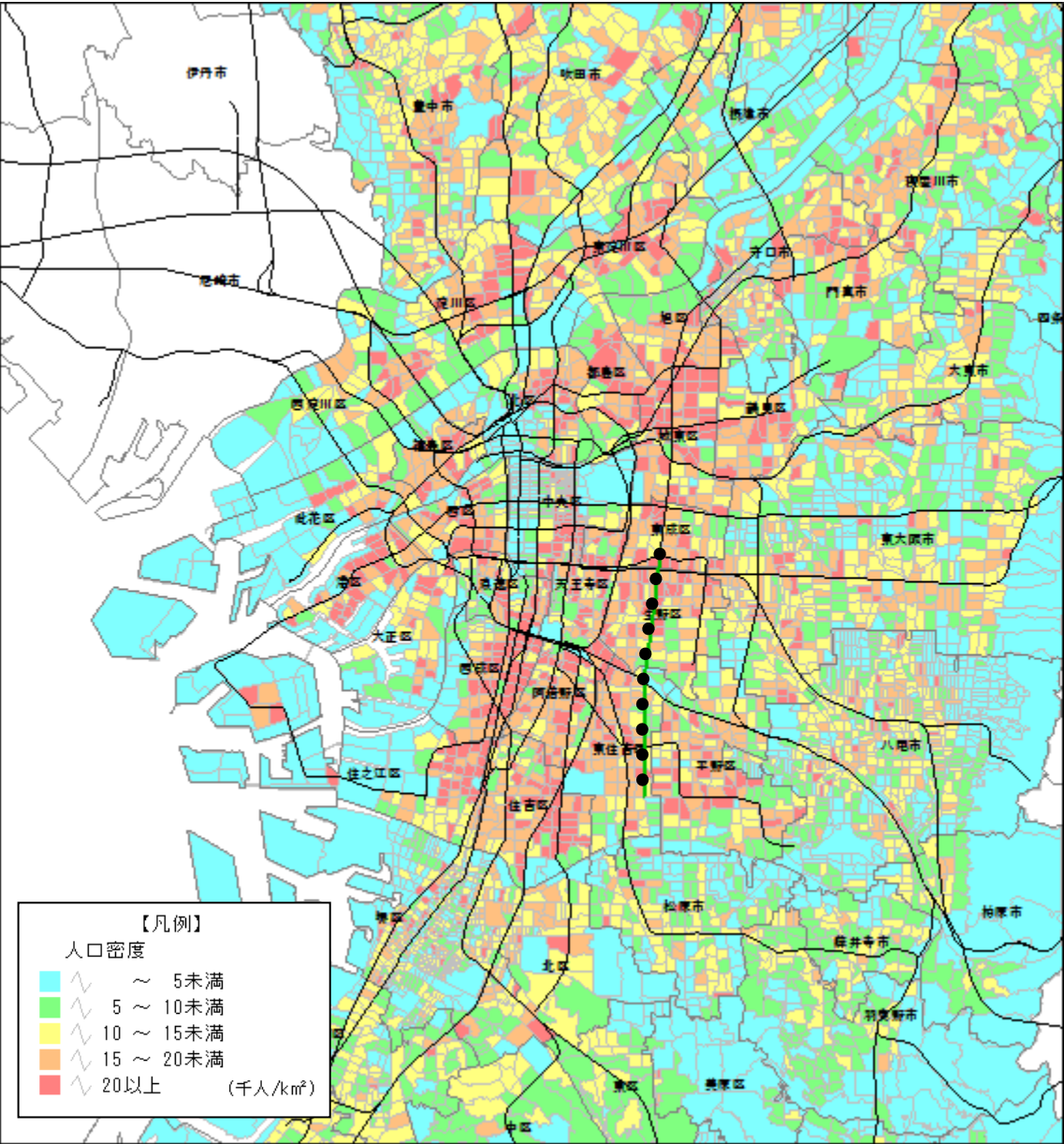
1-1 沿線地域の特徴と交通の実態

(1) 人口分布の状況

① 沿線地域の人口分布

大阪市およびその周辺地域では、JR大阪環状線の外側（いわゆる大阪の内周部）に人口密度の高い地域が集中している。

第8号線延伸部の沿線は、この人口密度の高い地域に位置する路線である。

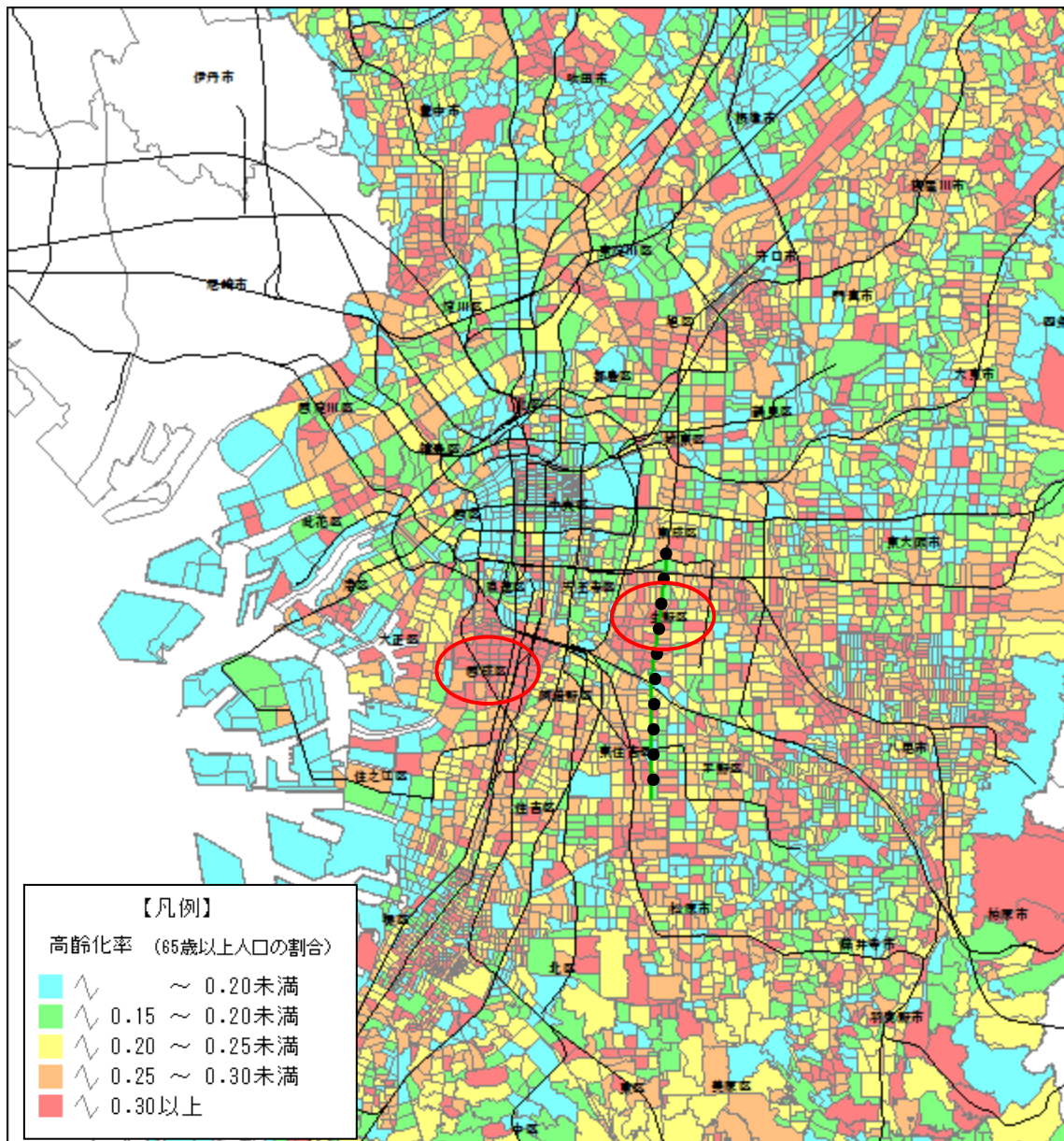


資料：平成 22 年国勢調査

図 1-1 人口密度

② 沿線地域の高齢化率

JR大阪環状線の外側(大阪の内周部)の人口密度の高い地域は、同時に高齢化率の高い地域でもある。中でも特に、西成区や、第8号線延伸部の沿線である生野区で、高齢化率が高くなっている。



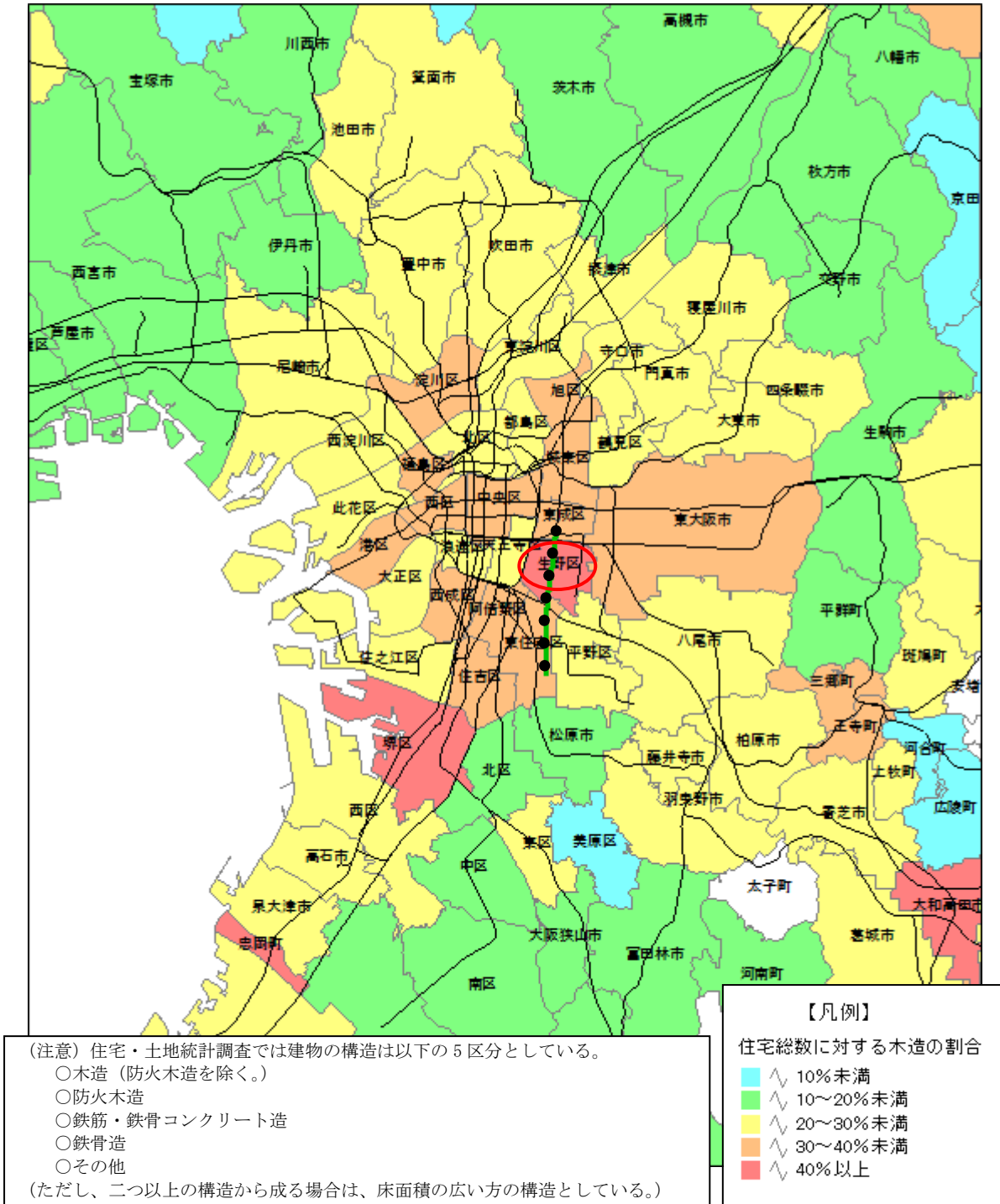
資料：平成22年国勢調査

図 1-2 高齢化率

(2) 住宅と居住の状況

① 木造建築の状況

生野区は、大阪の内周部の中でも、特に木造（防火木造を除く）の建築の割合が高い。

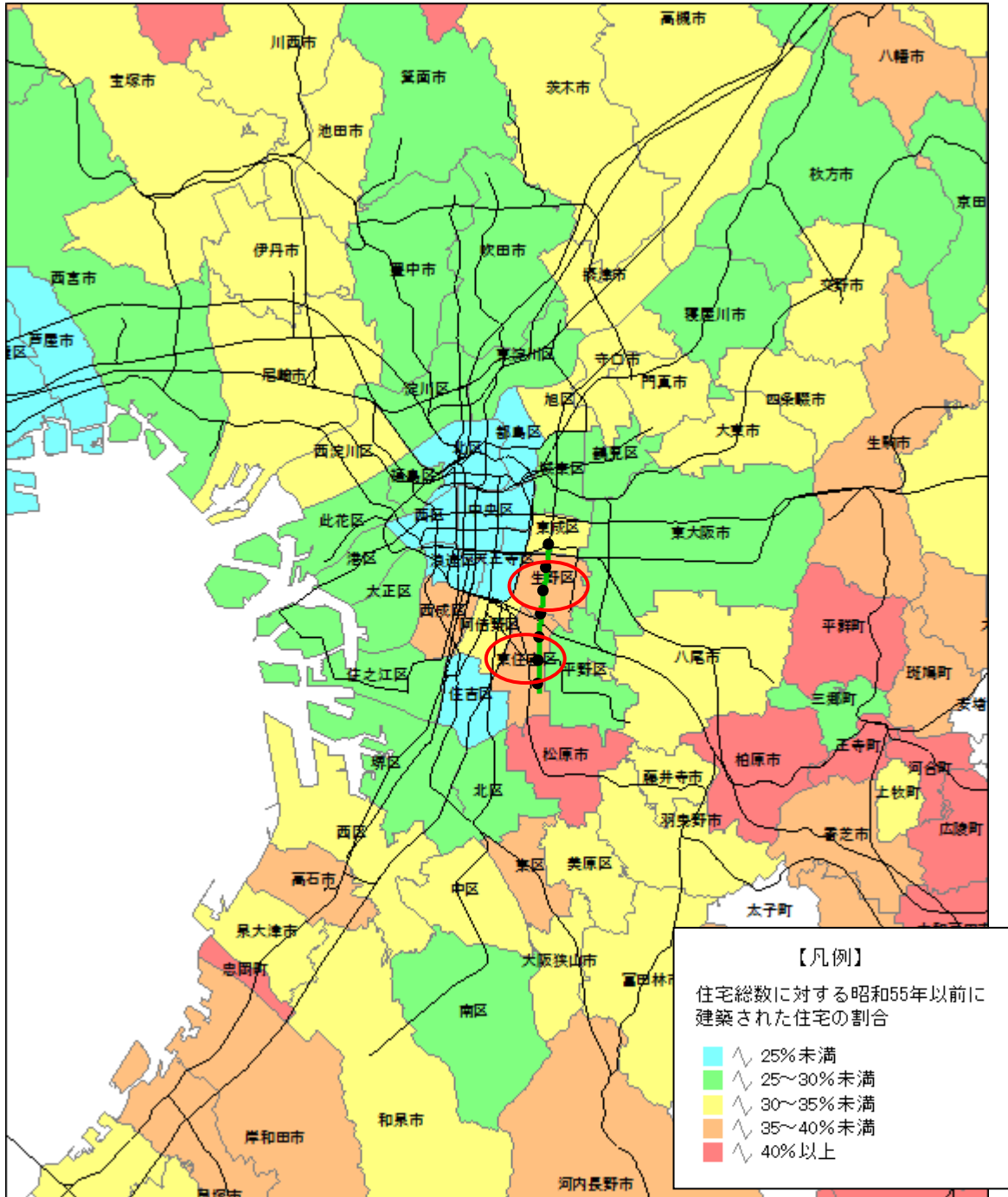


資料：平成20年住宅・土地統計調査

図 1-3 木造建築の割合

② 住宅の建築時期

昭和55年以前に建てられた住宅の占める割合は、JR大阪環状線内において低く、郊外に向けて徐々に高くなるが、第8号線の沿線である生野区・東住吉区では、周辺と比較しても高い割合を示している。

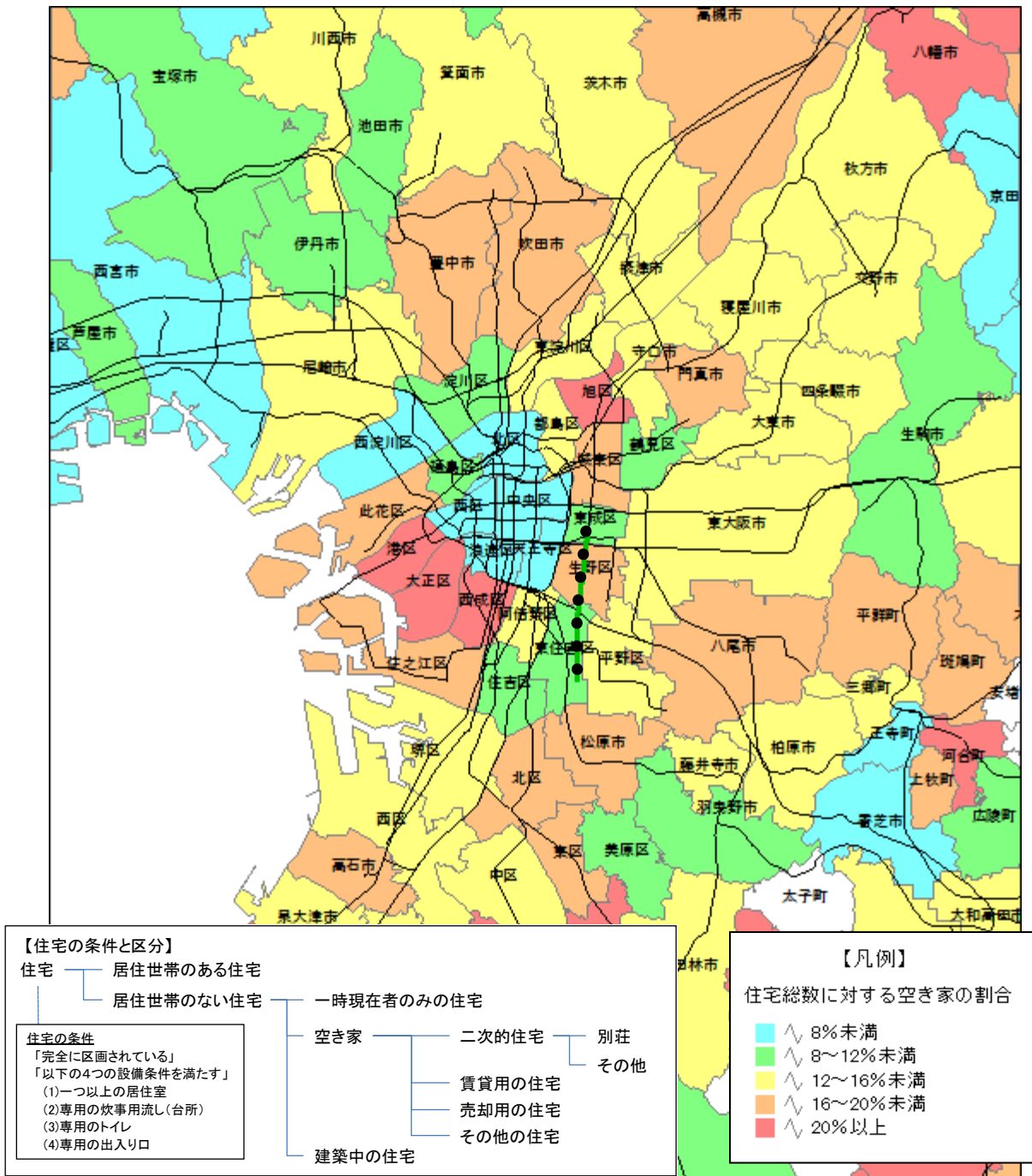


資料：平成20年住宅・土地統計調査

図 1-4 昭和55年以前に建築された住宅の割合

③ 住宅の空き家の状況

住宅の空き家率は、大阪市の都心部においては低いが、次いで大阪市外の市町村において低く、むしろ大阪の内周部が、郊外よりも空き家率が高くなっており、住宅地としての利用低迷が見受けられる。

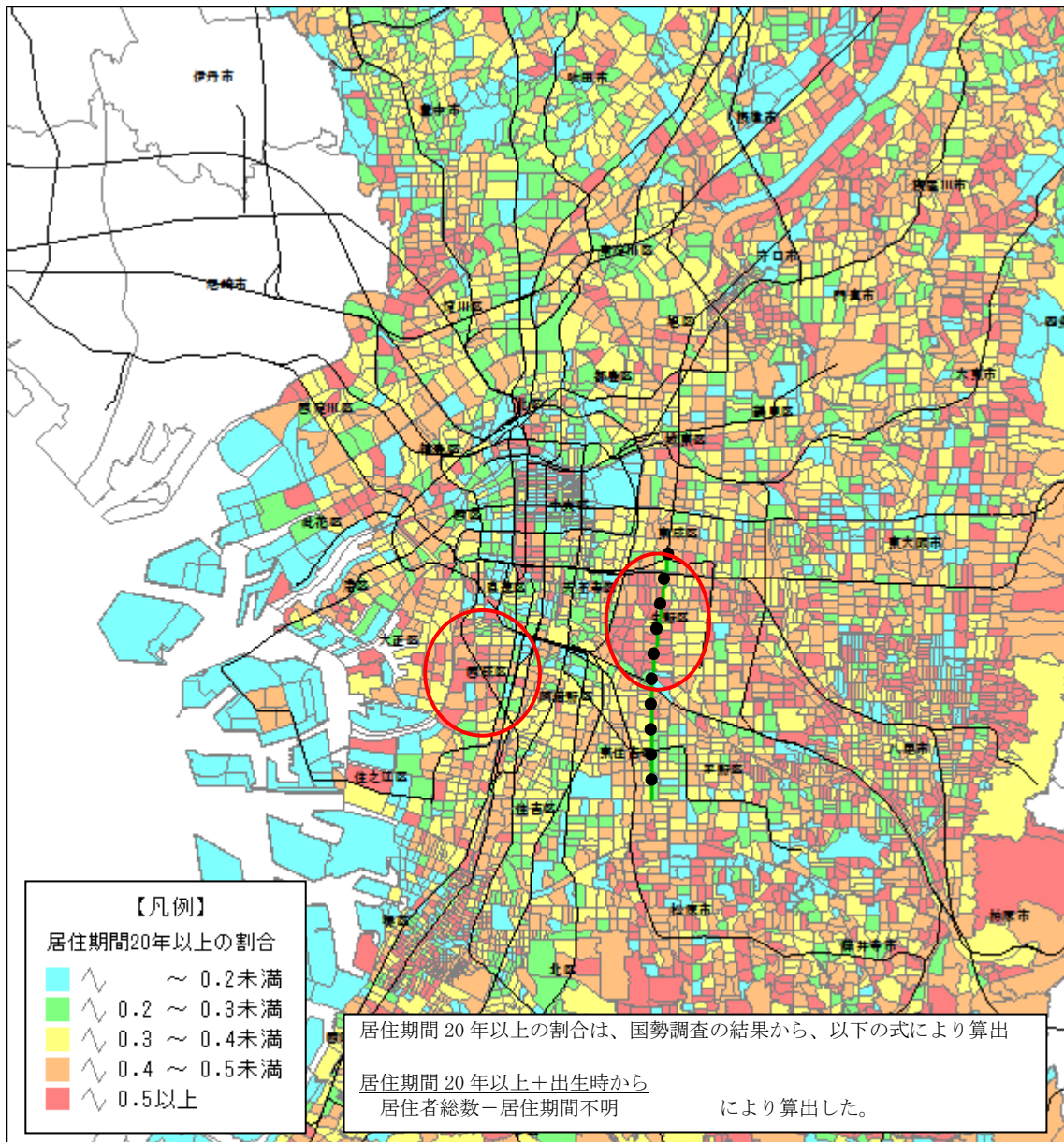


資料：平成20年住宅・土地統計調査

図 1-5 住宅の空き家の割合

④ 現在の住まいの居住期間

現在の住まいでの居住期間について、居住期間が20年以上の居住者の割合は、大阪の内周部および郊外で高くなっているが、特に西成区と生野区では50%を超える地域が多く広がっている。

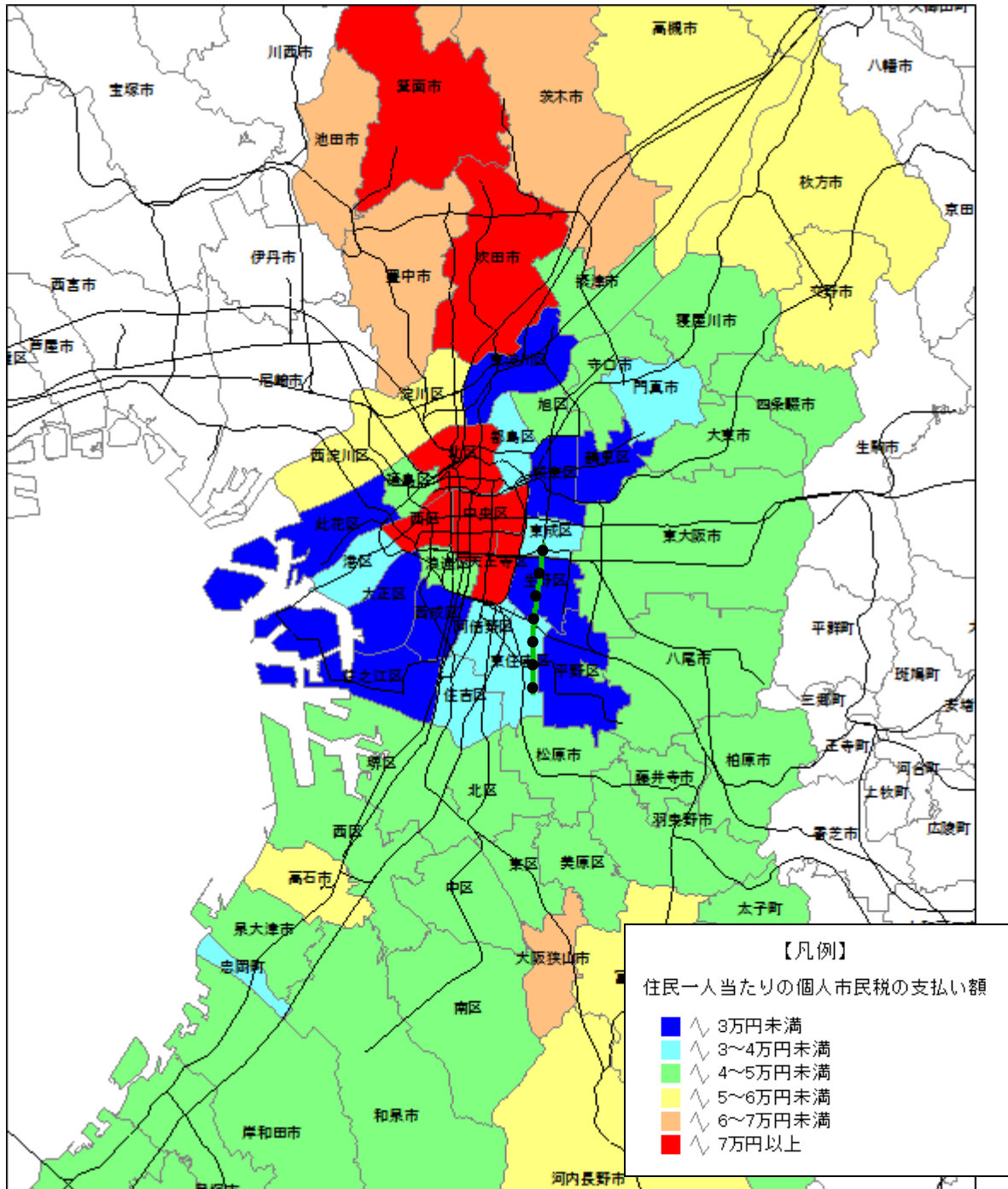


資料：平成 22 年国勢調査

図 1-6 居住期間 20 年以上の居住者の割合

⑤ 居住者の納税額

居住地に納入する個人市民税について、住民一人当たりの納税額をみると、大阪市都心部は高くなっているが、大阪の内周部は郊外の市町村に比べて特に低くなっている。



資料：大阪府統計年鑑および大阪市統計書により作成（平成 22 年度分）

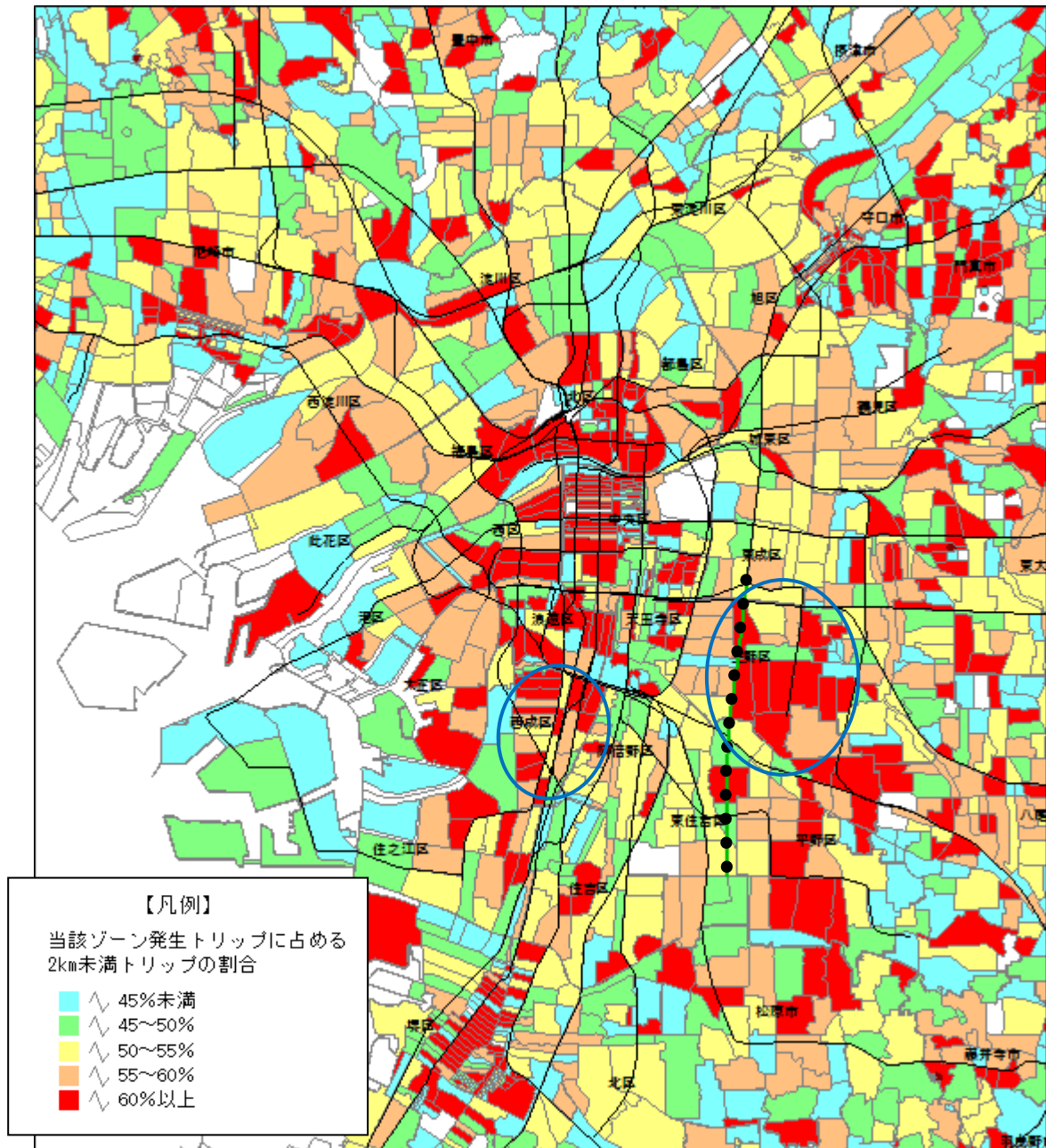
図 1-7 住民一人当たりの個人市民税の支払額

(3) 沿線地域の交通の実態

① トリップの移動距離

パーソントリップ調査を用いて、各地域から発生するトリップについてその平均移動距離をみると、都心部においては2km未満のトリップが多くを占める地域が多い。これは、従業地や買物先などの各種施設が近隣に充実しているためと考えられる。

一方、都心部以外では、西成区や生野区においても60%以上の地域が多く分布している。



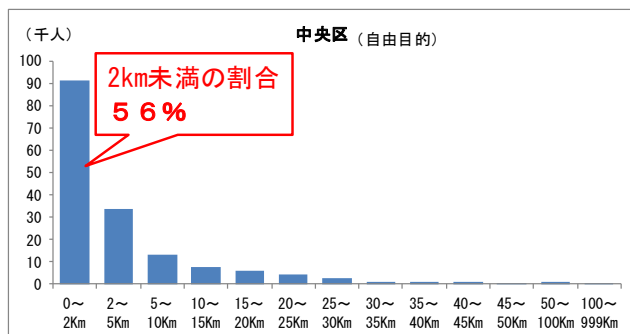
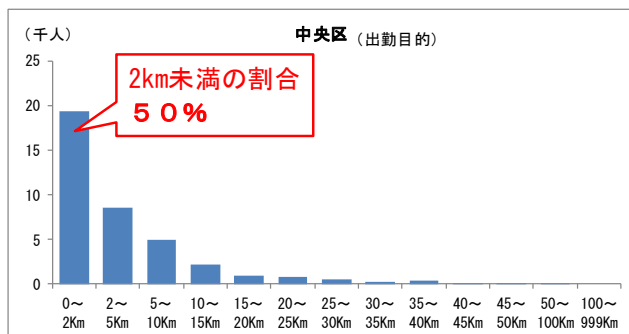
資料：H22 近畿圏パーソントリップ調査

図 1-8 当該ゾーン発生トリップに占める2km未満トリップの割合

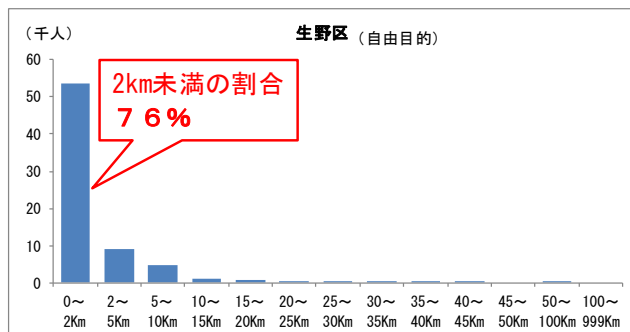
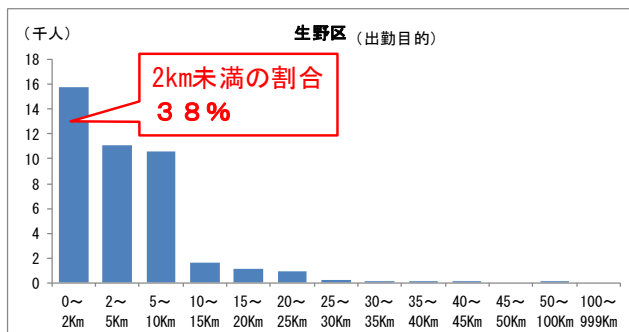
また、都心部・沿線（内周部）・郊外都市の代表で、それぞれに通勤・自由トリップの移動距離分布をみると、通勤トリップについては、都心からの距離に応じて、短距離トリップの割合が小さくなる。

一方、自由トリップについては、都心部の中央区に比べて沿線の生野区では、短距離トリップの割合が高く、自由目的の行動については都心部とも郊外都市とも異なる行動をしていることが分かる。

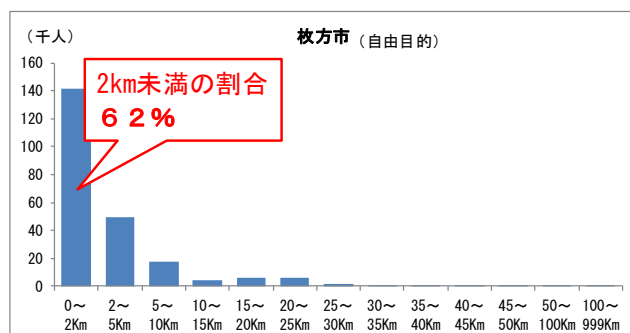
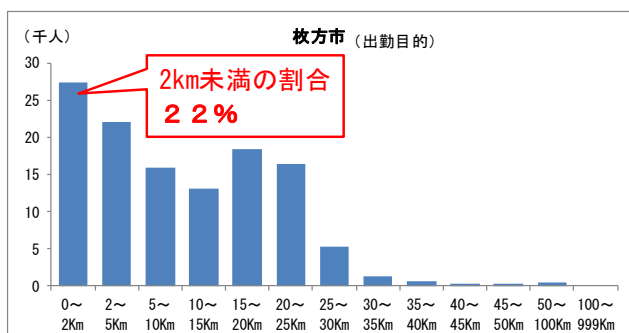
都心部



沿線（内周部）



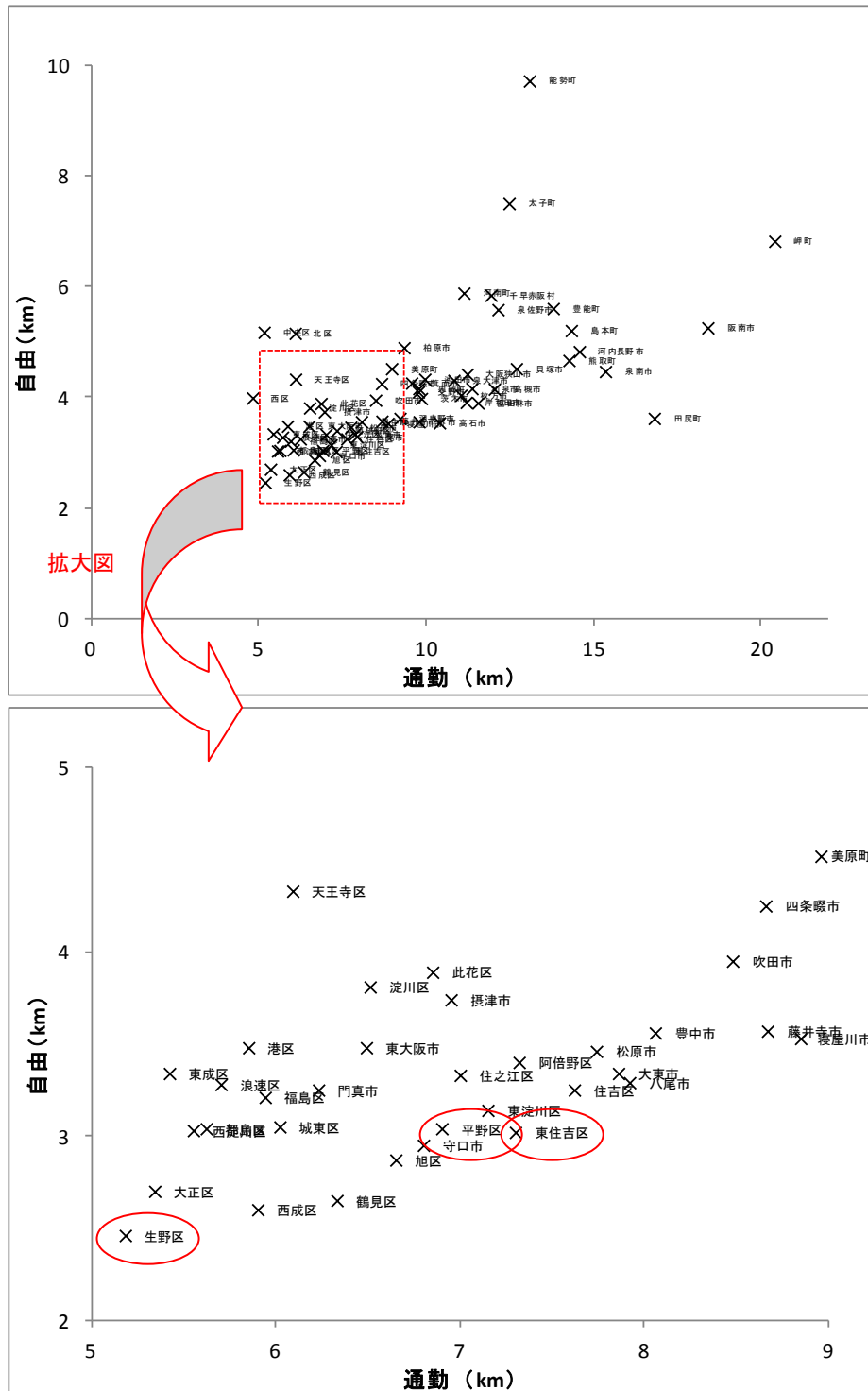
郊外都市



資料：H22 近畿圏パーソントリップ調査

図 1-9 都心部・沿線・郊外部の通勤・自由トリップの移動距離帯分布

大阪府内の各市（大阪市内は各区）について、平均のトリップ距離をみると、沿線区のほか、西成区・鶴見区などの大阪の内周部の多くが同様の傾向を示しており、内周部の地域の特徴といえる。

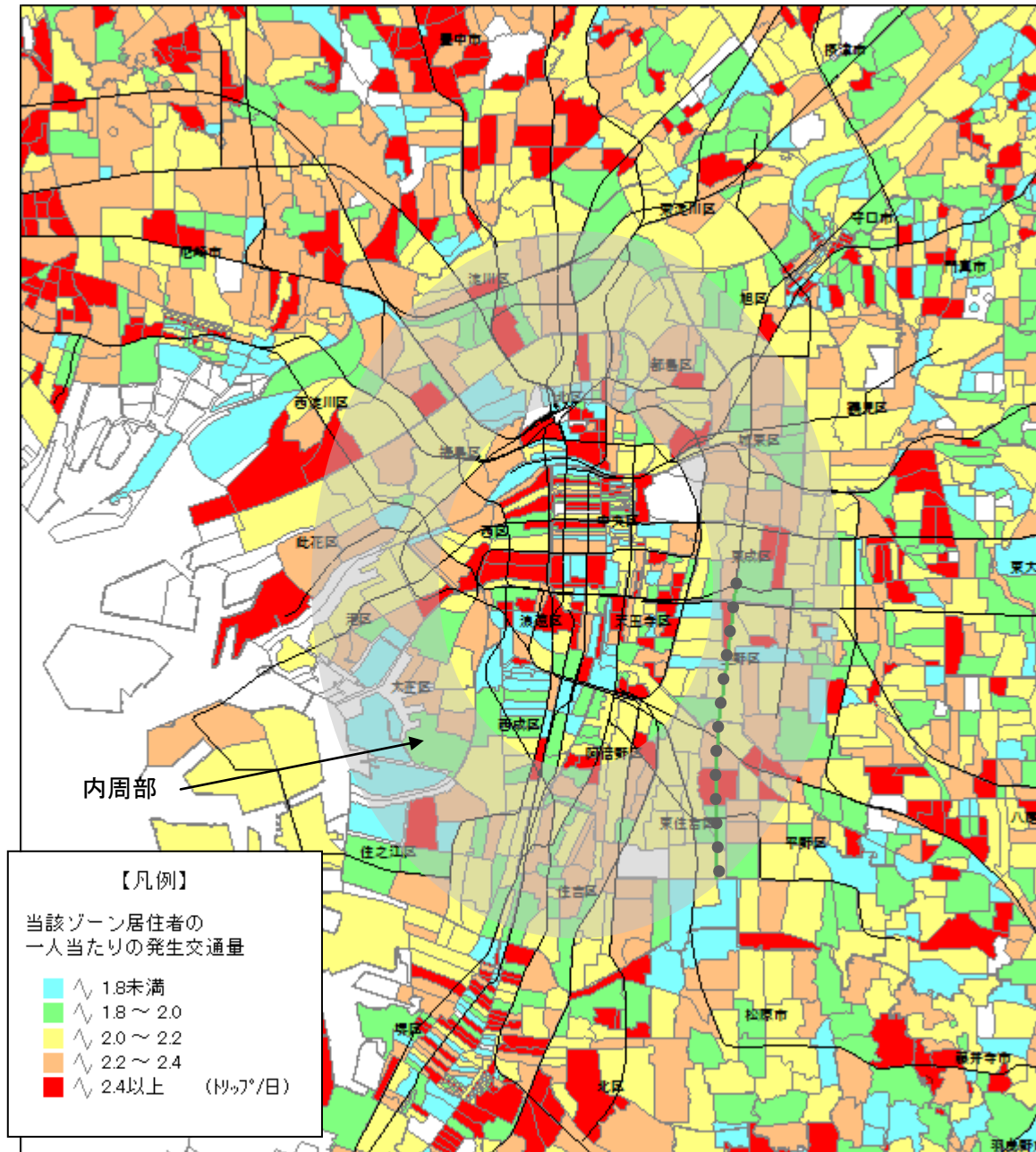


資料：H22 近畿圏パーソントリップ調査

図 1-10 大阪府内の各市区町村別の通勤・自由トリップの平均移動距離

② 居住者の一日当たりのトリップ数

地域別一人・一日当たりのトリップ数の状況を見ると、都心6区や堺市・豊中市などの郊外都市の中心部で高くなっている地域が多くみられるが、第8号線沿線を含む大阪の内周部では、トリップ数の多い地域が少ない。



資料：H22 近畿圏パーソントリップ調査

図 1-11 当該ゾーンの居住者の一人当たりの発生交通量

1-2 沿線区の現状と課題

大阪市においては、区長が区のシティ・マネージャーとして、地域としての区の目指すべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめたものであり、その中で、各区の現状および課題を捉え、運営方針等が記載されている。

■（参考）区将来ビジョンの構成・内容

①将来像

ア 将来像を見据える期間

平成24年度から概ね5～10年間（各区で適宜設定）

イ 区の概況・特性と課題

区の沿革・地勢、地域資源、人口・世帯の動向など区の基本的な情報

区の概況・特性を踏まえたまちづくりの課題

ウ 将来像

アの期間で実現しようとする区の姿・状態

②平成27年度末まで（区長任期中）の施策展開の方向性等

ア 将来像を見据えた各施策分野における現状と課題

イ アの現状や課題を踏まえて実施する主な施策

ウ 主な施策ごとの

成果（どのような状態にするのか）の最終目標

成果の目標達成に向けた工程（手順・スケジュール）

沿線の各区の将来ビジョンにおいて、区が抱える現状と課題について、特徴的なものを整理すると、次のようになる

表 1-1 沿線区の現状と課題(抜粋)

沿線区	項目	現状	課題
東成区	安全・安心	○密集市街地が多く、消防車が侵入できない狭い道路が多い。 ○地域防災活動の担い手の高齢化や不足、継承などの問題を抱えている。	○災害時の要援護者対策の必要性 ○現実的で効果の高い地域防災体制の構築
		○子どもに対する犯罪が後を絶たない状況にある。	○地域住民と関係行政機関との協働による体制の強化・維持
	地域活動	○住民同士が支え合う地域活動が活発である。 ○役員の高齢化・固定化により、活動自体が衰退する可能性がある。	○地域経営の仕組みの構築
	子育て	○核家族化や近所づきあいの希薄化により、子育て家庭の保護者が子育ての不安や悩みを抱えたり、孤立しやすい状況にある。	○安心して子育てができる仕組みづくりのさらなる構築 ○子育てサークルへの支援
生野区	人口	○人口減少・少子高齢化が進んでいる。	○若い世代の居住推進
		○居住地域としての役割が強い。	○人を呼びこむための魅力あるまちづくりの形成
	土地利用	○居住地域中心であるものの、住工混在の地域である。 ○1人当たりの公園面積が非常に少ない。	○災害時の要援護者対応
	安全・安心	○子ども事案件数が増加している。	○青少年の健全育成・若年層が安心して子育てができる環境づくり
	地域活動 産業	○地域活動に関する意識が高い。 ○2次産業が減少している。	○オンリーワン企業の後継者問題
東住吉区	人口	○人口減少・高齢化の進展している。	○地域自治を推進する主体の形成
	土地利用	○市有未利用地などがある。	
平野区	人口	○人口減少・高齢化が進展している。	○高齢者への支援やいきがい対策 ○高齢者が地域活動に参画できる環境づくり ○単身化が進む高齢者の孤立化防止
		○少子化が進展している。	○若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくり ○社会・地域に貢献する次世代の育成
	土地利用	○新たな土地の利活用が可能である。	○「魅力ある次世代のひらの」のまちの再構築 ○移動手段の確保 ○歴史を活用したまちの魅力の向上
	安全・安心		○日ごろからの備えの意識の向上 ○自助・共助を支えるしくみづくり
		○街頭犯罪発件数が増加している。	○警察や隣接市との連携 ○地域との市民協働による安全で安心なまちづくり
地域活動 産業	○地域コミュニティの基盤が弱体化している。 ○産業の停滞・縮小が懸念されている。	○区民が地域のことを自ら決定し運営することのできるしくみづくり ○企業相談の強化などの支援 ○地域と共存していくための支援	

資料：各区将来ビジョン

また、区将来ビジョンを参考に示すと、以下の通りである。

東成区将来ビジョン〈概要版〉

人も財政も持続可能な幸福度の高い基礎自治のモデル構築をめざします。

【将来像】

- ・安全・安心でいきいきとしたまち
- ・区民それぞれが未来に希望を持っているまち
- ・多様な区民が地域経営や区政に参画し、生きがいを感じているまち
- ・こうしたまちづくりを支え、実現することに喜びを感じる職員

ヒト・モノ・カネ・情報の地域資源が徹底的に活用され、区民が大きな公共を担う区民主体の自律的な地域社会が実現する仕組み、区民が公共的サービスを行える仕組みを構築します。また、区民と区役所の協働もさらに進め、共助中心の社会構築としていくことで、より細やかに多くの区民に必要とされていく防災や福祉等をかなえられるようにしていきます。

職員・組織の成長を図り、区民のニーズを捉えて施策や事業をゼロベースで見直し、徹底したムダの排除、生産性の向上に取り組みます。より低コストでより大きな成果を着実にあげる効率的な区政運営を進め、歳入確保にも努めていきます。

【具体的取組】

<p><地域力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民主体の地域経営の仕組み構築 ・民間委託、CR/CSR等の支援 ・お祭り等を軸としたポータルサイトの構築 <p><安全・安心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区独自の防災・防災計画の策定と実施 <p><子育て支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な保育サービスの充実 ・子育てに関する支援、情報提供の充実 	<p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援システムの構築 <p><健康・福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの推進 ・高齢者、障害のある等支援サービスネットワークの構築 <p><区政推進力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革を担う職員、職感風土づくり ・区民の区政参画と区政評価の仕組みの構築
---	--

(生野区将来ビジョン概要版)

【区の将来像】日々の暮らしの中で安全安心を実感できる住みやすく魅力あるまち

生野区では、区内の現況や課題を踏まえて、4つの目標を掲げ、区の将来像の実現をめざします。

安全・安心を実感できるまちづくり

区内で暮らすさまざまな方々が、日常においても、危機的状況においても、安全かつ安心に暮らすことができ、それを実感できるまちをめざします。

大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

地域のみなさんが、自主的かつ自立的にまちづくりに取り組み、地域のことは地域で決める、活力ある地域社会をめざします。

魅力あるまちづくり

さまざまな方々が区内を訪れるとともに、区に住みたいと感じられるような、活力にあふれた魅力あるまちをめざします。

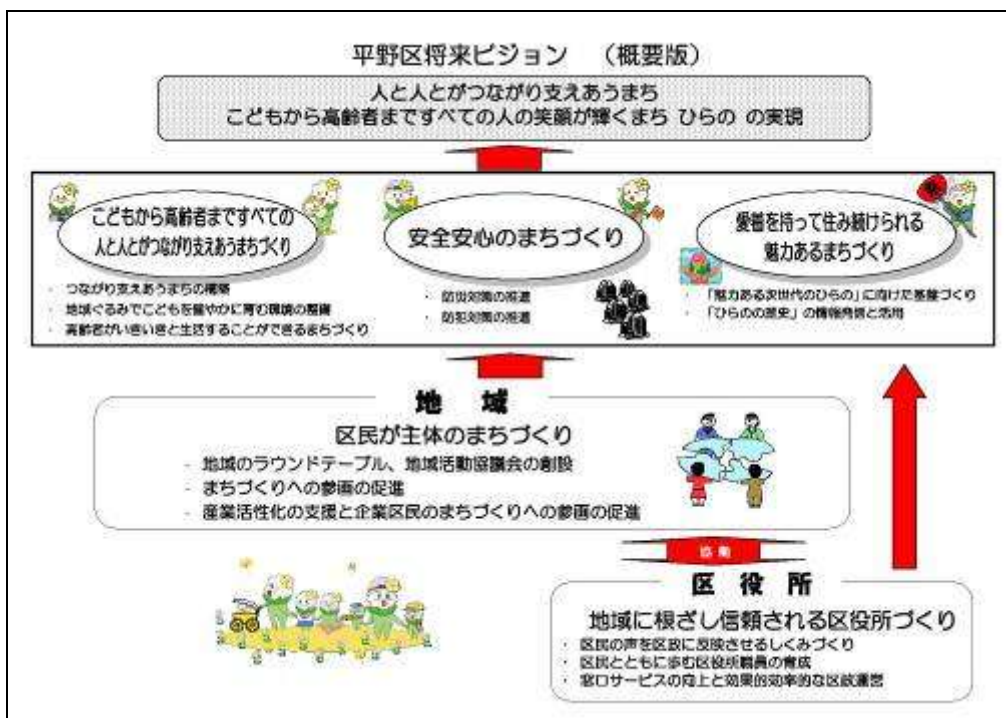
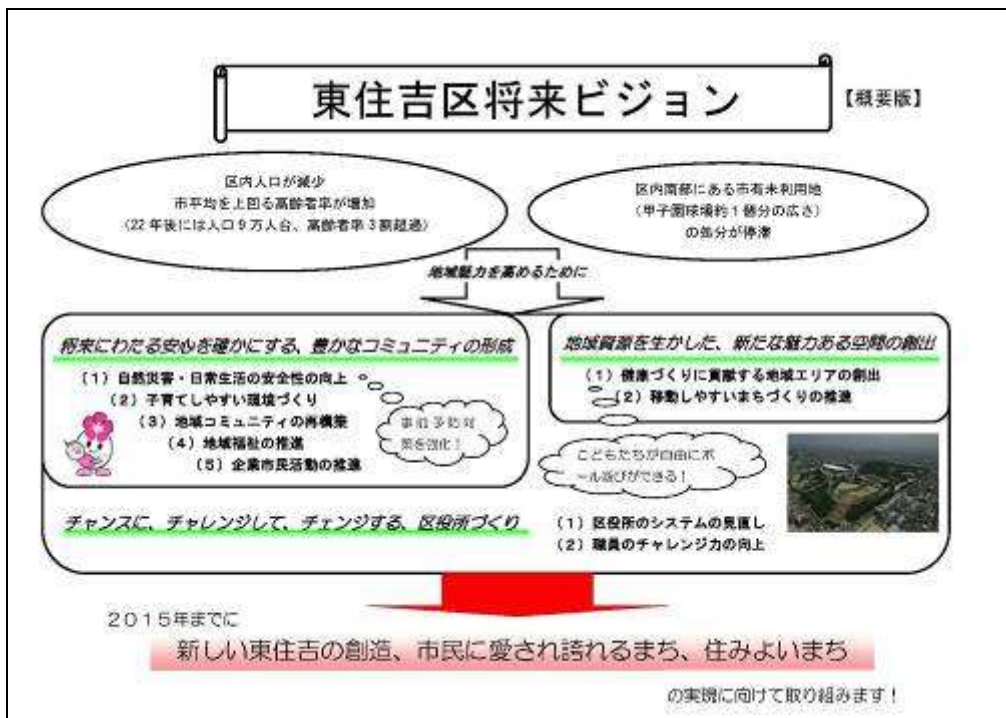
自衛した自治体型の区政運営の仕組みづくり

区民のみなさんが安全・安心を実感でき、積極的に地域活動を行えるよう、区民のみなさんとともにまちづくりに取り組む、拠点としての区役所をめざします。

上記目標の実現に向けて、平成24年度から概ね5年間に具体的な取組みを進めていきます。

資料：東成区将来ビジョン・生野区将来ビジョン

図 1-12 沿線区の将来像(東成区・生野区)



資料：東住吉区将来ビジョン・平野区将来ビジョン

図 1-13 沿線区の将来像(東住吉区・平野区)

1-3 現在行われている地域活動協議会（地域まちづくり協議会）の活動について

まちづくり協議会は、おおむね小学校区を基本単位として、その区域内に住んでいる人、働いている人などたくさんの方が広く参加し、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら、みんなで考え話し合っ地域課題の解決に取り組む、自律的な地域運営の仕組みである。

沿線区の検討路線沿線（今里筋と接する地域）には、16 のまちづくり協議会が設立されており、様々な活動がされている。



資料：各区 HP（各区の地域活動協議会の設立状況一覧より作成）

図 1-14 検討路線沿線の地域活動協議会の設置状況

表 1-2 地域活動協議会の設置状況

沿線区	まちづくり協議会	主な行事
東成区 (4)	大成地域福祉連絡協議会	納涼盆踊り大会、敬老のつどい、防災訓練、登下校見守り活動、大成校下清掃、年末夜警、地域巡視、大成フェスタ
	今里まちづくり活動協議会	納涼盆踊り大会、敬老会、震災訓練、公園清掃
	神路地域活動協議会	防災訓練、避難訓練、登下校見守り活動、敬老のつどい、ふれあいまつり、献血運動、川筋、道路清掃
	片江地域協議会	震災訓練、青色防犯パトロール、敬老会、盆踊り、子ども納涼の夕べ、地下鉄今里駅周辺清掃、ホテルの夕べ
生野区 (4)	舍利寺まちづくり協議会	桜まつり、たそがれフェスティバル、餅つき大会等
	田島まちづくり協議会	ふれあい夏祭り、餅つき大会等
	生野南ふれあい協議会	なかよし運動会、夏祭り、盆踊り等
	中川地域まちづくり協議会	桜祭り、精霊流し、夏祭り、秋祭り等
東住吉区 (6)	育和地域活動協議会	育和だんじり祭り、育和盆踊り
	意活生き今川協議会	ワンダーランド事業、意活生き今川チャレンジ会、今川納涼まつり
	南百済地域活動協議会	地域でこどもの見守り、南百夏まつり、南百うんどう会
	湯里地域活動協議会	湯里敬老会、ゆざと夏まつり大会
	矢田北地域活動協議会	矢田北敬老会、元気いっぱい運動会
	住道矢田地域活動協議会	住道矢田ふれあいフェスティバル・矢田東「敬老会」・三世代交流自転車交通安全教室
平野区 (2)	新平野西地域活動協議会	親子ふれあい夏祭り等
	喜連西地域活動協議会	盆踊り大会等

() 内の数値は各区の沿線の協議会の数

資料：各区 HP (各区の地域活動協議会の設立状況一覧より作成)

●安全・安心に関するまちづくり活動

安全・安心に関するまちづくり活動として、一斉パトロールや防災訓練、安全マップづくり等を実施している。



全域一斉パトロール



安全マップづくり



防災訓練



資料：地域活動協議会 HP

図 1-15 安全・安心に関するまちづくり活動の状況

●にぎわいに関するまちづくり活動

沿線区では、夏祭りや餅つき大会などの季節に応じた祭りの開催やだんじり祭り等を開催している。



ふれあい夏まつり



餅つき大会



だんじり祭り



盆踊り



金魚すくい大会



ふとん太鼓

資料：地域活動協議会 HP

図 1-16 にぎわいに関するまちづくり活動の状況

沿線区には、それぞれ商店会連盟等が設置されており、各区に位置する多くの商店会が加盟している。各商店会等では、イベントの開催や加盟店の紹介チラシの作成等、様々な活動がされている。



図 1-17 沿線区における商店会



商店街マップの作成



まつりの開催



イベントの開催



チラシの作成 (加盟店の紹介)

図 1-18 商店会等による活動状況

1-4 地域の現状を踏まえた方向性について

沿線地域の現状と課題を整理すると以下の通りである。

沿線地域は、人口密度が高いが、密集市街地が存在し木造建築が多いなど、周辺と比較して都市化の遅れが際立っている。また、地域産業の低迷に伴い、新たな流入人口が少なく、高齢化に拍車をかけている。

また、沿線地域は自由目的の短距離トリップが多く、鉄道の利用不便地域が残ることも一因として、地域で閉じた交通が多くなっている。一方で、古くからの住宅地でもあり、地域活動は活発な地域でもある。

地域の総合交通体系を考えるには、地域の課題への対応に即した検討を行う必要があるだけでなく、これらの特徴を活かすことで、需要喚起に繋げていくことも重要である。

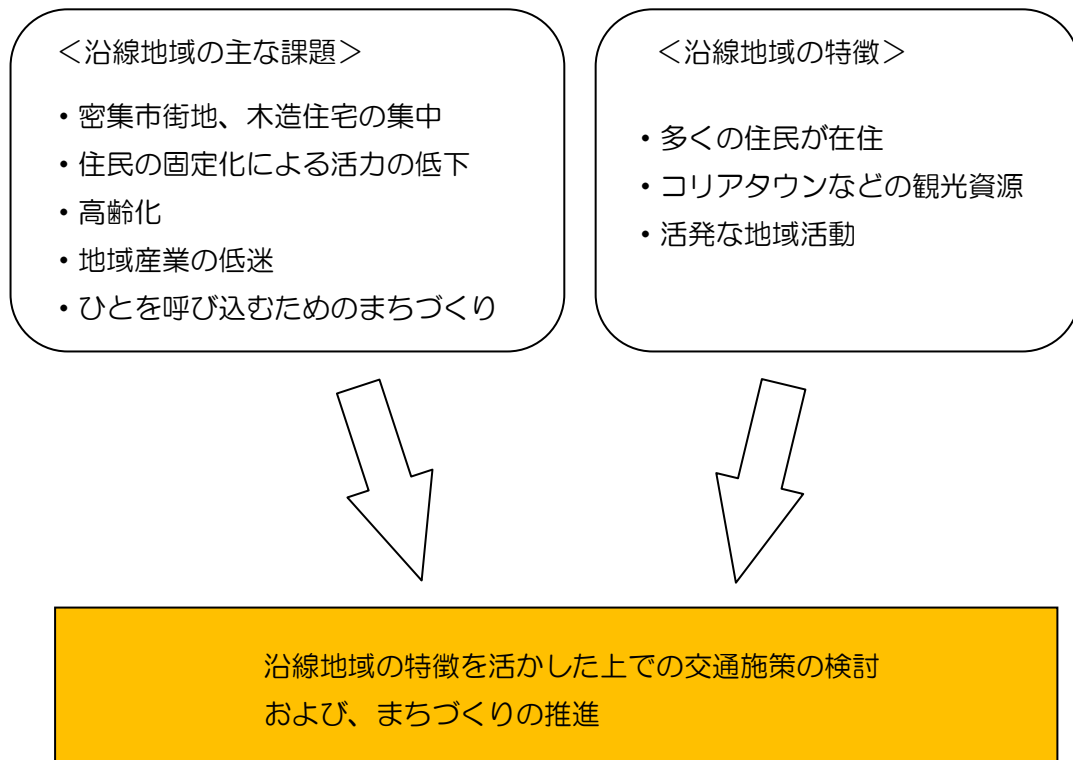


図 1-19 地域の現状を踏まえた方向性イメージ